



行政職員や農業者を対象に鳥獣被害対策講座（イノシシによるカンショ等の被害対策編（かすみがうら市））を開催しました。イノシシの生態や食性、対策となる侵入防止柵の役割や管理のポイントを学んだ後、実習で参加者は一から電気柵を設置し、実践的な対策技術を学びました。

講座名 茨城県鳥獣被害対策講座

「イノシシによるカンショ等の被害対策編（かすみがうら市）」

日時 令和6年11月22日（金） 午前10時から午後3時まで

場所 霞ヶ浦コミュニティセンター（旧あじさい館）会議室1・2、グラウンド

出席者 25名

### 受講生の声（抜粋）

- ・初めて電気柵の設置をさせていただいて大変勉強になりました。
- ・本日の実習を含めて、毎回の受講で体系的に鳥獣被害対策を学べるので農業者対応に活かします。動物の生態について、いつもとても参考になります。

### 講師のコメント

電気柵は電線に触れると痛みがあることをイノシシに学習させて、圃場侵入を防ぐ。設置にあたっては、基本的な注意事項を守ること（主電源は24時間通電、電気柵の本体は柵の内側に設置、地形の凹凸に合わせて導線を張る等）や、設置後の維持管理が重要。